

「親子で楽しむピアノコンサート」追加資料

東京都足立区にてピアノ教室「六町 AZU 音楽教室」を運営しております
代表の中澤杏沙(なかざわ あずさ)と申します！



ピアノ講師として13年
足立区に個人教室を開いて3年

幼少期～大人まで幅広い世代の方に
「楽しい」をモットーにレッスンしています！

現在は 30 名ほどの生徒様と日々ピアノに向き合っています！



『今回のプロジェクトに行き着いたきっかけ』

私はピアノ講師として 10 年以上活動しております。
2019 年にピアノ教室を開講してから 3 年が経ちました。
毎日、さまざまな個性を持った生徒様と楽しくピアノに向き合っております。

ピアノ講師をしてきた 10 年間のうちで
どうしても途中でピアノを辞めてしまう生徒様がありました。

ピアノを辞めてしまう理由は
受験であったり、レッスンを受けている本人の気持ちであったり、
明確な目標を見いだす前になんとなく辞めてしまったりとさまざまです。

ふと、そういった生徒様たちを思い出すことがあります。

ピアノ講師として『ピアノの演奏技術を伝える』という以外に
できることがあったのではないかな？と。

ピアノの魅力をレッスンだけでは伝えきれていないのでは？と
自問自答する日々でした。

長く続かない原因のひとつは、
ピアノや音楽で人を心から感動させることができることを知らないからだと考えていま
す。

コンサートではプロの奏でる演奏に魅了され、演奏終了後には
スタンディングオベーションで拍手が鳴りやまない、そんな世界があることを
伝えていければピアノという楽器の見え方がまた変わるのかなと感じています。

本物のピアノ演奏の迫力やピアニストの息づかいを
子供たちに肌で感じてもらう機会を作りたいと考えておりました。

例えば、スポーツは TV や球場に行ってプロ選手のプレーを間近で観戦できたり、
そういったプロの選手が地域の少年チームに指導をしに来る機会などがあったりしま
す。

一見敷居が高いと思われがちクラシック音楽の世界も
楽器を習う生徒さまにとって実はとても身近で簡単なことであると
伝えたいと思っています。

鳥肌が立つ生の音楽を一人でも多くの子供たちに味わってもらいたい！
音楽で見える世界が変わることを知ってもらいたい！

そんな想いで子供たちにピアノを教えています。

そしてピアノレッスンを習わせたいと思う大人(保護者の皆様)も
コンサートに行った経験が想像以上に少ないのが現状です。

ピアノを習ってほしい！音楽を好きになってほしい！と思っている方は多いのに
子供と一緒にどう楽しんだらよいのか、悩んでいる方も多いのです。

ご家族で楽しめる内容のコンサートがあったら、きっと皆観たいでしょう！

そしてそのきっかけや機会を作るのも
ピアノ教室の大切な役目だと思っています！

子供も大人も楽しめるコンサートと一緒にその感動を体験して
ご家族でたくさん話題にしてもらいたいと思います。

『コンサート内容』

スペインで活動中の日本人ピアニスト 内 奈々子さんを招いて
誰もが知る有名なピアノ曲からスペインの情熱的な楽曲まで
演奏をお願いしております。



内 奈々子

(1989年横浜市出身。これまでに久村久美子、山田敦子、森直紀、本尾かおる、Bart van de Roer、Kelvin Grout、Josep Maria Colom、Daniel del Pino の各氏に師事。サラマンカ音楽大学(スペイン)非常勤講師。2012年に昭和音楽大学ピアノ演奏家コースを卒業後、成績優秀者による卒業演奏会、2012年5月には読売新人演奏会に出演。2012年9月よりオランダ、ロッテルダムへ留学後、2012年12月にロッテルダムラジオ放送に出演。2013年2月ヨーロッパで最も重要なコンサートホールの

一つであるアムステルダム・コンセルトヘボウにてフルート奏者 Josephine Poncelin とデュオリサイタルを果たす。2013 年オランダ・アーネムにてシューマンフェスティバルに出演、また伴奏ピアニスト Rudolf Janssen のマスタークラスを受講。2014 年 6 月に日西交流400周年記念リサイタルを在東京スペイン大使館で行った後、スペインの各都市でも演奏。また、2014 年 8 月にソプラノ歌手 Kenix Tsang と香港でリートコンサートを行う。2014 年 10 月にオランダ、ロッテルダムにてオランダクイーン、Maxima の前で演奏。昭和音楽大学同例会奨学金を得たのち、2014 年 11 月ロッテルダム音楽院を首席で卒業。2015 年 8 月にスペイン、ガリシアにてスペイン音楽を専門としたマスタークラス、'Musica de Compostela'に奨学生として参加。2020 年にグラナダオーケストラと共演。また同年スペインで最も重要な音楽祭の1つである Festival Otoño Musical Soriano に出演。現在ヨーロッパ各国、日本など世界各地で国際的に演奏活動を行っている。)

※写真等使用の許可取得済

演奏以外にもスペインで音楽家としての生活や音楽事情、プロピアニストになった経緯、

実際にピアニストとしてどのように仕事をしているのか？
等トークコーナーも企画しています！

演奏という視点だけではなく
ピアノや音楽の世界、海外生活の貴重な経験談などを
保護者の方々にも知ってもらい

『どのような目標でお子様にピアノに向き合ってもらおうのか』

そのヒントになるように。

また、お子様にはプロピアニストの音の迫力を肌で感じてもらい
感性を刺激するそんな時間を作れるように
プログラムを考えております！

勝ち負けや点数が無い音楽の世界だからこそ
親子でピアノについて知ってもらえる
そんな機会を提供いたします。

『コンサート詳細』

会場:わたなべ音楽堂(東京都足立区)

<https://watanabeongakudo.com/>

住所:東京都足立区中央本町 4-12-5

開演時間:第1回公演 11時 第2回公演 14時 の2回公演



少人数でのコンサートのため
ピアノの音だけではなく指使い、息遣いを目の前で感じていただけます！

※やむ終えない事由によりコンサートが開催出来ない場合はチケット代は返金させていただきます

『最後に』

昨年、日本のピアノ界では大きなニュースがありました。
海外で行われた「ショパンコンクール」にて
日本人のピアニストが2人入賞し連日ニュース番組で
取り上げられていて
ピアノを教えている立場の私としては非常に嬉しく思いました。

それと同時にここ日本においては
ピアノのコンサートというのが非常に敷居が高く
ピアノに触れる機会があまりないことが
これからの日本のピアノ業界における
課題でもあるのではないかと思います。

これほど素晴らしいピアニストを輩出できる日本の
ピアノに触れる最初の一步にいるのが
ピアノ講師であるかと思います。

今、ピアノに対して目を輝かせている子供たちに
このコンサートを通じてピアノの楽しさを
全力で伝えられれば、このプロジェクトの完成であり、
またスタートなのではないかと思っております。

世間では
「習わせたい習い事第1位 ピアノ」

「東大生の半数はピアノが弾ける」

「ピアノは脳を活性化させる」
などと言われております。

そのどれもが事実ではありますが
ピアノという楽器を通じて
感性が豊かな子供たちが溢れる未来のために
皆様のお力をお借してください！